

震災 15年、ご支援への感謝をこめて

2011年発生の東日本大震災は、かつて経験のない津波や原発事故により被害をもたらしました。ミヤカンがある気仙沼市は、10mもの大津波に加え、石油タンクから流出した油に引火し大規模な火災が発生するなど甚大な被害を受けました。工場には複数の漁船が打ち上げられ、工場、事務所、倉庫、原料などのすべてを失い凄惨を極める状況となりました。壊滅的な被害を受け事業再開は絶望的でしたが、2015年の4月新たに水産加工の集積地として整備された鹿折地区の復旧事業第一号として再開致しました。ミヤカンの復興が東北や気仙沼の復興に繋がる。ミヤカンが復興することで、気仙沼の皆さんを勇気づけられるという熱い思いで再開できた事は全ての従業員の団結から成し得たと思います。



工場従業員室 事務所(流失)のあった場所から撮影



工場入り口の荷さばき場



工場入口（現在）



工場充填室（現在）

2026年3月11日は、東日本大震災発生から15年の節目の年。この震災によりかけがえのない多くの命が失われ、最愛の御家族や御親族、御友人を失われた方々のお気持ちを思うと、今なお哀惜の念に堪えません。また、震災による大きな犠牲の上の教訓をけして風化させることなく次世代に受け継いで行くことが私たちの責務であり、何よりも「命と安全」を優先する会社であり続けなければなりません。

今までご支援いただきましたお取引先さま、お客さま、地元気仙沼市の皆さま、従業員の皆さまには、あらためまして感謝いたし厚くお礼申し上げます。

大きな犠牲の上に得られた熱い思い、強い意志、感謝の気持ちを絶やすことなく、引き続き三陸の環境を活かしたものづくりでお客さまの要求に応え得る企業を目指して参ります。

2026年3月

株式会社ミヤカン

代表取締役社長 福島 庸夫